



深西だより

学校通信 第4号 令和3年7月21日(水) 発行

新機軸 創りあげる人
新活力 豊かな心 強身体

第72回学校祭を無観客で開催

7月10～11日 第72回学校祭が「道開けろ ～この時代に僕らの青春～」をテーマに2年ぶりに実施されました。4月以降、新型コロナウイルス感染状況により様々な制約がかかる中、何度も実施要項の変更を余儀なくされ、その度に執行部が粘り強く要項を練り直し、話し合いを繰り返しながら多くの壁を乗り越えて、今年度の学校祭実施にこぎつけました。

1日目は深川市文化交流ホール「み・らい」を貸し切り、伝統の応援団による口上などの開祭式で幕をあげ、吹奏楽局演奏、クラス紹介、アピール発表が行われました。2日目は学校で文化系部局の展示、有志発表、抽選会、行灯、閉祭式で幕を閉じました。

学年によるクラス数の違いから、今年は連合制ではなくクラス単位での準備・練習・発表となりました。昨年は中止だったので1年生だけではなく2年生にとっても初の深西学校祭。自分たちの頭で考え、仲間とアイディアを出し合い、練習を繰り返し、練習の成果とそれぞれのクラスカラーを出し合いました。

今年度の学校祭は無観客のため、例年駐車場で行っていたアピールは「み・らい」で、市街を回っていた行灯はグラウンドを周回して体育館内で点灯しました。花火は中止となりました。本当に異例の学校祭となりましたが、それでも実施できたことは、彼らの高校時代の成長と思い出に不可欠なものになると確信しています。楽しみにしていた保護者や地域の皆さまには、本当にご迷惑をおかけしました。

来年は通常の学校祭開催に向かっていけるように願うばかりです。



学校祭を迎えるにあたり、私たち執行部はどの学年も平等に楽しんでもらい、コロナ禍だからこそ生まれる団結力や相互成長を成し遂げたいとの願いがありました。コロナの影響で多くの制限がかけられ、何度も実施要項案を練り直しました。その度に生徒の皆さんからの不満の声と先生方からの不安の声とで板挟みとなり、思い通りの学校祭が計画できず中止の選択を考えた時もありました。でも、学校祭が始まるとどの学年も皆が輝いていて、3年生も大いにリーダーシップを発揮してくれました。今は伝統ある深西の学校祭を実施できて本当に良かったと思っています。皆さん、執行部を信じてくれてありがとうございました。

＜生徒会長：前田琴羽・北竜中出身＞

粘りで延長14回を闘い抜く

6月29日より滝川市営球場で行われた夏の全国高校野球空知支部予選で、深西野球部が6年ぶりの北大会進出にあと1歩まで迫る戦いを繰り広げました。

深西の初戦は芦別との対戦でした。11安打10得点の猛攻で圧勝し、勢いに乗りました。続く代表決定戦・滝川戦も、初回に先制し主導権を握りました。ところが、その後は点を取れば取り返すシーソーゲームが続き、1点ビハインドで迎えた9回表、寺本蒼一朗くん（深川中出身）のタイムリーで追いつき延長戦。11回に吉岡直哉くん（沼田中出身）の犠飛で勝ち越しに成功したものの、その裏に追いつかれ、さらにタイブレーク適用となった延長14回、細谷小太郎くん（深川中出身）のタイムリーで再度勝ち越し。その裏、2アウトまで追い込み、北大会に王手をかけましたが、その切符がするりと手から落ちていきました。

少数ながら、1年間みっちり鍛えられて成長した野球部ナインが、敗れはしたものの、最後の最後で著しい成長の跡と、粘りのある素晴らしいゲームを見せてくれたことは、深西生に大きな勇気と感動を与えてくれました。



8月の行事予定

- 2日(月) 学校評議員会
- 11日(水) 閉庁日(～13日)
- 16日(月) 全統共通テスト模試
- 17日(火) 学年集会、基礎力テスト
- 18日(水) 朝の挨拶運動(～20日)
- 20日(金) 体育祭
- 21日(土) 全統記述模試、道看模試
- 23日(月) 体育祭予備日
- 25日(水) 高文連美術地区大会当番校(～27日)
- 26日(木) スクールカウンセラー訪問



最後の夏の大会では負けはしましたが、今までで一番いい試合になりました。この3年間で多くのことを学び、多くの経験をしてきたことが、最後の最後で表現できて、本当に良かったと思います。新チームの主将となった時は、主将として何をすれば良いかわかりませんでした。もがく中で、チームの課題が出る度にチームメイト全員とコミュニケーションをとることが大事だと悟り、それを通じて課題を克服してきました。その結果が夏の大会に表れたと思っています。後輩達にも互いに切磋琢磨して、いいチームになっていってほしいと思っています。

＜野球部主将：遠藤拓夢・雨竜中出身＞

7月16日 本校体育館で保健講話が行われました。札幌医科大学看護学科の荻田珠江氏を迎え、『自分の声・相手の声を聞いてみよう』との演題で、LGBTQや性の多様性について全学年を対象に講話を聞きました。

＜発行者＞ 北海道深川西高等学校 担当：総務部

＜電話＞ 0164-23-2263 ＜FAX＞ 0164-23-2264

＜E-mail＞ hukagawanishi-z0@hokkaido-c.ed.jp ＜ホームページQRコード＞

